

当院の **循環器内科**は

先生方の「今すぐ」を支える

24時間緊急対応をしております

経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)専門施設

当科では、年間約360例のPCIに加え、年間60～70件のTAVIを施行しております。経験豊富な循環器チームが確かな技術を提供いたします。

【当科の特徴】

城東エリア唯一のTAVI専門施設認定:透析患者様へのTAVI(透析TAVI)にも対応可能となっております。

早期の社会復帰:低侵襲手術により、早期離床・早期退院を実現しております。

軽微な所見でも受付:動悸・呼吸苦をはじめ、心雑音や心電図変化のみの症例も精査いたします。

【外来診療のご案内】

弁膜症外来:毎週火曜日(午前)

※上記以外の曜日でも、ご紹介や診察のご相談は随時承っております。

先生方からのご紹介やご相談を、心よりお待ちしております。
ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。



循環器救急のご相談は、
専門医直通の「ホットライン」へ
一分一秒を争う循環器疾患に、
医師が直接応えます。

☎ 03-6204-6711
24時間365日

循環器内科 診療科長

若林 公平
(Kohei Wakabayashi)

<卒業大学>
昭和大学(1999年卒)

<専門>
虚血性心疾患、弁膜症



当院の強み！

最先端の心房細動治療：パルスフィールドアブレーション(PFA)

心房細動に対するカテーテルアブレーション(肺静脈隔離術)は、高周波通電法や冷凍凝固法が中心でしたが、当院では新技術「パルスフィールドアブレーション(PFA)」を導入しております。

治療のメカニズム: 高出力のパルス電圧を心筋に通電させ、不可逆的電気穿孔(irreversible electroporation)を形成して肺静脈隔離術を行います。

高い安全性: 熱を用いないため組織特異性が高く、従来の熱焼灼(Thermal ablation)に比べ、食道障害・横隔神経障害・術後肺静脈狭窄などの合併症リスクを大幅に低減いたします。根治性と安全性を両立した新たな選択肢として、ぜひご紹介・ご相談ください。

高周波・冷凍凝固アブレーションとの比較
周辺組織への影響



熱アブレーション(RF/Cryo)
全ての組織に対して無差別に損傷を与える為、近接する横隔神経や食道などの組織も潜在的に損傷を受ける可能性

パルスフィールドアブレーション (PFA)
心筋組織に選択的に影響を及ぼし、近接組織への影響を避けることが期待される

当院の強み！

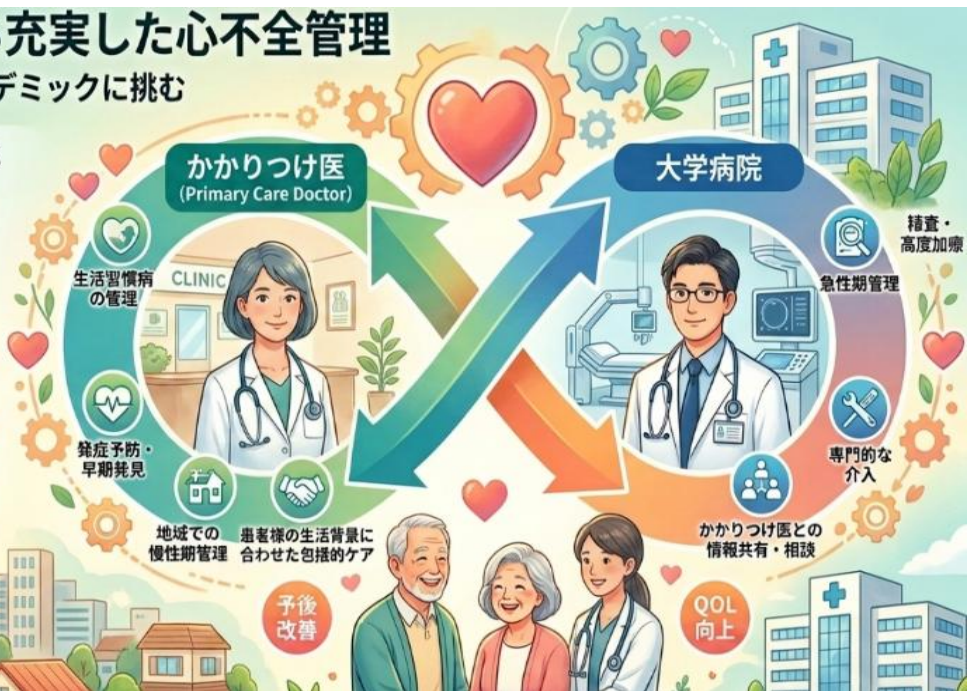
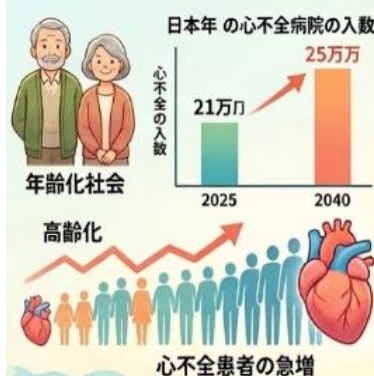
二人主治医制による充実した心不全管理

当科では、信頼できるかかりつけの先生方との「二人主治医制」を通じて、強固な医療連携を構築し、心不全患者様の予後改善とQOL向上を共に目指して参ります。

二人主治医制による充実した心不全管理

強固な医療連携で心不全パンデミックに挑む

【背景】心不全パンデミックの脅威



昭和医科大学
江東豊洲病院

《当院の特色》

土日祝日も診療 (一部の科除く)

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38 TEL 03-6204-6000 (代)
03-6204-6130 (医療連携室)

